

平成26年度 自己点検・評価書

平成27年3月

佐賀大学
保健管理センター

I 日常業務である保健管理センター活動について

平成 26 年度における保健管理センターの日常業務に関して、その活動報告および自己評価を行う。

<本庄キャンパス>

I. 平成 25 年度学生の健康管理実施状況

1. 学生健康診断他活動状況

本庄地区では、健康診断として、新入生健康診断、在學生健康診断、留学生健康診断、スポーツ健康診断、R I 健康診断、感染対策として、小児感染症抗体検査、メンタルヘルスとして、通常カウンセリングおよびスクリーニング、その他として、禁煙サポート、肥満学生支援、ブルガタ精査、健康診断証明書発行などの業務があります。

鍋島地区では、健康診断として、在學生健康診断、大学院生健康診断、R I 健康診断、感染対策として、小児感染症対策（新入生）、B 型肝炎ワクチン接種、ツベルクリン反抗検査、インフルエンザワクチン接種、メンタルサポートとして、カウンセラー面談、その他として健康診断証明書発行などの業務があります。

2. 定期健康診断

新入生 1,201 名中 1,191 名（99.2%）が定期健康診断を受けた。在学生の 2 年生は 1,206 名中 928 名（76.9%）、3 年生は 1,290 名中 1,113 名（86.3%）、4 年生は 1,515 名中 1,224 名（80.8%）、大学院生は 714 名中 570 名（79.8%、研究生などは 162 名中 116 名（71.6%）であり、総計 6,088 名中 5,142 名（84.5%）であった。

平成 25 年度は 84.5%、本年度は 84.5%であり、受診率は変化なく、維持している。

3-1, 3-2, 3-3 健康診断結果（各検査所見）

現症または所見のある者の中で、頻度の高い疾患および状態像は、やせ（BMI 18 未満）が 444 名、肥満（BMI 30 以上）が 124 名、アトピー性皮膚炎が 91 名、アレルギー鼻炎 30 名、心雑音・不整脈が 52 名、不眠が 34 名、胸部 X 線異常が 35 名（2 名の気胸、1 名の結核）、などであった。心電図検査は、新入生は全員に行っている。大学院生・編入生・留学生を合わせて、1,361 名に行った。その結果では、ST-T 異常が 32 名、R 波増高不良が 17 名、心室性期外収縮が 8 名、などがみられた。入学時の心電図異常所見者は、継続的に経過観察している。平成 26 年度は、175 名を検査し、必要な学生には心エコー検査を行い、適

宜、医療機関に紹介した。

3-4 留学生特別健康診断

留学生健診は、春と秋（秋入学者対象）に実施している。血液検査では、高脂血症の学生が多く、前年比13名増であった。血液検査結果は、個別指導を行い、春健診で異常がみられた学生は、秋にもフォローアップしている。

前期及び後期で血液検査に認められる異常所見は、高脂血症、B型肝炎ウィルス陽性、肝機能障害、高尿酸血症、貧血などであった。

4. メンタルヘルス対策

4-1 健康相談調査（メンタルスクリーニング）

心理面のスクリーニングを行うために、本年度は新入生、卒業予定学生（学部学生）および大学院生へ「一般健康調査票（CMHQ）」「College Mental Health Questionnaire」を配布した。それぞれの結果のまとめを以下に提示する。

新入生：回収率は、1,190名中1,183名（99.4%）であり、昨年同様に高かった。CMHQのスコアが20点以上（ストレス過剰の可能性）の学生は177名（15.0%）であった。それらの学生の中で、129名（72.9%）に構造化面接 Mini-International Neuropsychiatric Interview (MINI)を施行した。頻度の高い診断としては、神経症19名、睡眠障害5名、発達障害圏内の可能性5名、気分障害3名、などが認められた。

卒業予定学生（学部学生）：回収率は、1,488名中1,205名（81.0%）であった。CMHQのスコアが20点以上（ストレス過剰の可能性）の学生は217名（18.0%）であった。それらの学生の中で、160名（73.7%）に構造化面接 Mini-International Neuropsychiatric Interview (MINI)を施行した。頻度の高い診断としては、神経症39名、気分障害23名、発達障害圏内の可能性9名、睡眠障害5名、などが認められた。

大学院生：回収率は、600名中493名（82.0%）であった。CMHQのスコアが20点以上（ストレス過剰の可能性）の学生は493名中67名（13.6%）であった。それらの学生の中で、56名（83.6%）に構造化面接 Mini-International Neuropsychiatric Interview (MINI)を施行した（昨年は23.9%）。頻度の高い診断としては、神経症12名、発達障害圏内の可能性5名、睡眠障害3名などが認められた。

全般的にみると、ストレスの度合は、卒業予定者（学部学生）18.0%>新入生15.0%>大学院生13.6%順に高かった。

発達障害圏内の可能性の学生について：男女ともに、増加傾向にあるが、平成26年10月より学生支援室集中支援部門の専門教員と連携し、サポートを行っている。

4-2 カウンセリング状況

本庄地区では、非常勤の学生カウンセラー2名が配置されている。

両キャンパスのカウンセリングを受けた学生数は287名、延べ面談数は1,087回であった。

カウンセリングの相談内容は、精神衛生167名、学生生活39名、対人関係31名の順であった。

4-3 集中支援部門との連携

平成26年10月より、専任教員が配置。キャンパス・ソーシャルワーカーとの連携強化。

キャンパス・ソーシャルワーカーが対応した相談実数は、54名（内、アウトリーチは3名）である。

延べ電話回数1,144回、延べメール送信数1,157通、延べ面談数568回であった。1月末時点で継続して支援を要する学生は、82名（内、保健管理センターとの連携は14名）

4-4 休・退学調査・障害学生（留学生を除く）

平成25年度の全学部をあわせると、休学生が238名、退学者が166名であり、総計404名となる。休学者の理由は経済的理由51名が最も多く、一身上の都合45名、留学36名などの順となる。一方、退学者の理由として、進路変更57名、経済的理由50名、学業不振30名などの順となる。

自主退学の年次推移では、従来100名前後であったが、平成25年度は131名と増加傾向にある。また、死亡学生は、ここ3年間、年1名みられており、その背景には自殺の可能性が考えられる。さらなるメンタルサポートの重要性が必要であると考えられる。

障害学生調査では、平成26年度は、29名にみられ、前年と比較すると、7名の増加である。難病の学生4名の増加、発達障害の学生3名の増加がその理由である。

5-1 感染症対策

本庄地区では、麻疹抗体検査を行っている。対象者数は302名で、受診者は295であった。ワクチン接種対象者は20名であった。この結果は昨年と同様であった。

6 健康診断証明書発行状況

自動発行機による部数は前年とほぼ同じであり、5,588通であった。保健管理センターにおける発行件数は、841通であった。発行の最も多い月は、6月から7月に移行している。今年度より就職活動時期が変更されているため、学生の就職活動に配慮して対応していく方針である。

7 保健管理センター利用状況（本庄地区）

保健管理センターの利用件数は8,178件（学生6,381件・職員1,797件）であった。平成26年度では7月の百日咳流行、1月のインフルエンザ流行があり、その時期の利用者が増加している。スポーツ健診の受診者が減少傾向、科学研究費（木道医師）での心電図検査がなくなったことなどから、総計が平成25年度と比較して、460件の減少がみられた。

しかし、8,178件という利用件数は、本大学（本庄地区）の保健管理センターが学生および職員の保健管理および治療において十分な役割を果たしていると考えられる。

<鍋島キャンパス>

【学生現状分析】

1. 定期健康診断

新入生 166名中166名(100.0%)が定期健康診断を受けた。在学生は名中896名(98.6%)であった。大学院生は社会人学生の割合も多く、193名中50名(25.9%)が受診した。大学院生の内訳は、社会人大学院生89名受診者24名(26.9%)、一般大学院生44名うち26名(59.1%)が受診した。

2. 新入生健康診断

新入生における現症または所見のある者の中で、頻度の高い疾患および状態像は、アレルギー体質が5名、やせ(BMI 18.5%未満)が5名などであった。

3. ワクチン接種状況

ムンプス・麻疹・風疹・水痘などの小児感染症については、延べ184名がワクチン接種対象となった。B型肝炎ワクチンは、医学科4年103名・看護学科2年の61名、医学科1年116人、看護学科60人計340名が接種を受け、311名が陽転した。陽転しなかった学生については、1月・2月に追加接種を行い、3月末から4月中旬までに確認検査を行う。

インフルエンザワクチン接種は、11月～12月に実習学生医学科5・看護学科3年、および国家試験を受ける学年医学科6年・看護学科4年、勸奨学年医学科2.4年生を中心とした472名に接種した。

4. 健康相談（メンタルヘルス支援）

新入生については、これまで同様に入学時健康診断のスクリーニング調査結果で、ポイントの高い学生11名および健康状態について確認が必要な学生3名を対象に実施した。H23年度から、医学科4、医学科2年、看護学科3年を対象に全員スクリーニング面接を実施した。

看護学科は、1年生3名が進路再考（転学部希望）、4年生1名が精神疾患のため自主退学した。早い時期に進路再考する傾向が認められた。医学科は2年生の留年が多く、スクリーニング面接は複数回呼出しても、来談しない学生もおり、100%実施できなかった。医学科4年

生は複数回呼び出しを行ったが、1名が面談未受診で終わった。留年生については、できる限り2回の面談を実施した。面談結果については、カウンセラーによる報告書作成し、教育委員会やチューター会議で報告を行った。

医学科5年生で、実習中の学生2名が実習に行かなくなり、単位修得ができなかった。1名については、学校医対応の学生であったため、学生サービス課や担当教員、家族と連絡をとり対応した。1名については、特に情報共有もないため、保健管理センターでは対応行っていない。看護学科のチューターや指導教員から相談があった場合は、その対応について、カウンセラーと教員で話し合い対応の相談を行った。

対応が難しい学生も多く、医学部精神神経科学校医の協力を得て、2名の学生に述べ32回保健管理センターで診察が行われた。留年を繰り返す学生には、精神面・学業面での支援は不可欠で、精神科医と学生サービス課、チューター、および保護者との連携を行った。2月に医学科2年と4年生の2名が自主退学となった。1名は自主留年、前期休学し治療予定である。

5. 健康診断証明書発行状況

今年度から、健康診断書の自動発行がスタートした。

2月～1月までに213通の健康診断証明書の自動発行利用があった。医学部の場合は、免疫の記録（小児感染症・B型肝炎ワクチン接種・ツベルクリン反応検査）と国家試験免許申請に関する診断書発行が多く、保健管理センターでの診断書発行は329件であった。

6. 保健管理センター利用状況

H27年度の1月末までの保健管理センターの利用件数は7379件（学生3967件・職員3412件）であった。今年度は、学生のB型肝炎ワクチン接種が2学年分同時に行うため、利用者は増加した。また、4月の部活による新入生の歓迎行事が制限されたため、4月に感冒症状で保健管理センターを利用する学生が減少した。また、今年度は、学園祭もなかったため、秋の感冒症状の増加もなく経過した。

II. 平成26年度教職員の健康管理実施状況

<本庄事業場>

1. 平成26年度安全衛生活動状況（本庄地区）

本庄地区では、労働安全衛生管理活動状況として、職場環境の整備（作業環境管理・職場の巡視・5S活動・快適職場づくり）、マニュアル等の整備（安全衛生管理マニュアルの作成・MSDSの整備）、健康保持増進対策（健康診断・有所見者に対する事後措置）・メンタルヘルス対策・受動喫煙防止対策）、安全衛生教育（安全衛生教育・能力向上教育・衛生管理者等資格者の確保）の活動がなされている。

2. 定期健康診断：

雇用時健康診断、一般定期健康診断、特定業務従事者健康診断、他機関受診者を併せると、935名が健診を受けていた。その中で、有所見数は536名（57.3%）であった。

3. メンタルヘルス対策

(1) 健康相談調査（メンタルスクリーニング）

本庄地区では、全教職員に「勤労者の疲労蓄積度自己診断チェックリスト」でスクリーニングを行った。

さらに、大学院工学系研究科教職員には「中災防ウェルネスチェックシート」でのスクリーニングを行った。対象者134名中80名からの回答を得て（回収率59.7%）、要配慮者は10名（12.5%）であった。

(2) カウンセリング状況（本庄地区）

カウンセリング体制は、産業医2名、産業カウンセラー（非常勤）1名、ナース2名である。新規相談の実数は、62名、延べ面談数は、300名であった。相談の内訳は、精神衛生が17名、人間関係が20名、身体健康が11名などであった。

4. 復職支援実施状況（本庄地区）

佐賀大学では、病気（メンタルヘルスの不調者を含む）やけがなどが原因で心身の健康を害し、休職している教職員（休職しようとする方を含む）に、段階（0～4段階）ごとに産業医等の支援の下に実施している。第0段階（発症時の支援）、第1段階（療養開始・療養中の支援）、第2段階（復職復帰準備期の支援）、第3段階（職場復帰時の支援）、第4段階（職場復帰後の支援）である。

本年度の復職支援は、メンタル以外は2件（延べ4回）、メンタルは7名（延べ43回）であり、復職判定会議は、計5回施行された。その結果、5名中4名が復職した。

5. 労働災害報告（本庄地区）

平成26年4月から平成27年1月までで、本庄地区は6件であった。

<鍋島事業場>

1. 健康診断

職員健診は、附属病院ということもあり、定期健康診断の100%受診を労基署より指導をされ、100%受診できている。しかし、要精密検査の再検査の未提出が多く、多忙な職務の

中での健康管理が課題である。

2. 感染症対策

職員の感染症対策については、総務課・附属病院感染制御部と協力し企画・実施した。

ムンプス・麻疹・風疹・水痘などの小児感染症については、雇用時に全員対象に行い、抗体が不足している職員述べ 188 名に追加接種を行った。(H24 年度より同時接種を行った)

B 型肝炎対策は、今年度から節目検査がスタートし、5 年ごとに検査を行う職員にも対応し、195 名にワクチン接種を行った。

ツベルクリン検査はH25 年度から中止となり、結核接触があった場合 T スポット検査に替わった。

インフルエンザは、全職員を対象に実施した。委託職員なども含め 1738 名にワクチン接種を行った。

3. メンタルヘルス対策

鍋島職員には、全職員スクリーニングに加え、健康診断時に中災防ウエルネスチェックを行った。また、復職支援体制が充実し、定期的な産業医・産業保健スタッフの面談・支援により、休職者の減少につながったと考えられる。

職員が 1600 人と多く、人の出入りも多いため今後もメンタルヘルス支援の協力体制は重要である。

Ⅱ 教育に関する状況と自己評価

保健管理センターの教員 3 名はそれぞれ講義および大学院生をもち、教育においても大学において貢献している。その具体的な内容を以下に示す。

<本庄キャンパス>

本庄キャンパスに勤務する佐藤と木道については以下の通りである。

1. 講義

学内（佐藤）：

健康スポーツ科学・前期（2 単位）

理工学部（機能物質科学）フレッシュマンセミナー「こころアレルギーにつ

いて：人間関係免疫不全症候群」(平成26年5月7日)
医学部・精神医学「コンサルテーション・リエゾン精神医学」
農学部 「こころアレルギーについて：人間関係免疫不全症候群」(平成26年4月28日)
医学部医科学専攻・修士課程・精神心理学特論(平成26年6月11日)
医学部医科学専攻・博士課程・健康スポーツ学特論「ストレスと運動」(2単位)

学外(佐藤)：

放送大学佐賀学習センター公開講座「こころアレルギーゲーム・ネット依存の背景にはー」(平成26年8月10日)
佐賀女子短期大学「こころアレルギーについて：人間関係免疫不全症候群」(平成26年4月24日)8月
活水女子看護大学看護学部FD研究会「学生気質とメンタルヘルス」(平成26年8月25日)
日本赤十字九州国際看護大学「統合失調症と妄想性障害、気分感情障害、人格障害・薬物依存・てんかん、脳機能と薬物療法」(平成26年5月28日)
国立有明高等専門学校「ネット依存」(平成26年12月16日)

学内(木道)：

健康スポーツ科学・後期(対象：農学部1年生)
トレーニング理論・実習(池上寿伸・木道圭子)：1年生前学期

2. 大学院生等指導

大学院医学系研究科博士課程医科学専攻5年生 濱田維子
(学位公開審査済・研究委員会最終審査待)
大学院医学系研究科博士課程医科学専攻1年生 中村志織
大学院医学系研究科修士課程医科学専攻卒業生 柴 佳宝(北京の精神科病院就職)
大学院医学系研究科修士課程医科学専攻2年生 竹岸智子(卒業決定、博士課程進学予定)
大学院医学系研究科修士課程医科学専攻1年生 花房喜代治

<鍋島キャンパス>

講義等

尾崎岩太. 佐賀県におけるC型肝炎治療の肝癌予防効果. 佐賀ソブリアード発売記念講

演会 創世（佐賀市）2014. 1. 24.

尾崎岩太. 病院で働き始める前に. 佐賀大学医学部附属病院看護師オリエンテーション.
2014.4.9 佐賀大学医学部附属病院（佐賀市）

尾崎岩太. 肝炎公費助成制度の現状. 佐賀県肝癌対策医会 マリトピア（佐賀市）
2014. 7. 31

尾崎岩太. 学校における疾病予防と保健管理. 平成 25 年度教員免許更新講習会.
2015. 8. 29 佐賀大学医学部（佐賀市）

尾崎岩太. 佐賀県におけるウイルス肝炎の現況-検診から治療へ-. 第 108 回佐賀肝臓懇話
会 マリトピア（佐賀市） 2014. 8. 29

尾崎岩太. 佐賀の肝がん: C型肝炎ウイルスからみた現在・過去・未来. 佐賀市本庄公民館
生活・教養セミナー 4 本庄公民館（佐賀市）2014. 9. 25

尾崎岩太. B 型 C 型肝炎の最新治療. 平成 26 年度鳥栖市健康大学 鳥栖市保健センター
（鳥栖市） 2014. 9. 25

尾崎岩太. 佐賀県の肝疾患の現状. 平成 25 年度佐賀県地域肝炎コーディネーター養成研修
会 2014.10.4-5 佐賀大学医学部（佐賀市）

尾崎岩太. 佐賀県の肝疾患の現状. 平成 25 年度佐賀県地域肝炎コーディネーター養成講座
e-learning. 2014.11.5, 2014.12.10 佐賀大学医学部（佐賀市）

大学院生等受け入れ指導

佐賀大学医学部博士研究員 夏 京合

社会人大学院医学系研究科博士課程医科学専攻 3 年 桑代卓也

Ⅲ 研究に関する状況と自己評価

研究に関しては、本来の業務に追われて、十分な研究が行われているとはいえないものの、研究報告および学会報告は、ある程度の業績を提出していると自負している。以下に、研究報告および学会報告の内容を提示する。

＜本庄キャンパス（佐藤・木道）

研究報告

〔著書・総説〕

特になし。

〔研究・症例報告〕

1. Yang C, Yamawaki N, Miyata M, Sato T: Prevalence and risk factors of Internet addiction: A cross-National comparison between Japanese and Chinese freshmen. *Transcultural Psychiatry* 50(2):263-79, 2013.
2. Hamada Y, Nagamatsu M, Sato T: Factors influencing maternal acceptance of human papillomavirus vaccination for their school-aged daughters in Fukuoka Prefecture, Japan. *Br J Med Med Res* (in press)
3. Hayashida Y, Yoo J, Kiyota M, Sato T, Gigurua N, Kitagawa K, Oh YY: Digital Convergence Technologies for Active Living in Disaster Mitigation. Preliminary study. 1st International Symposium on ICT-based Disaster Prevention Design ICTDPD2015, January 23-25, pp.41-42, 2015.
4. Yamawaki N, Sato T: Beliefs about causes of and risk factors for mental disorders: A comparison of Japanese and American college students. *Transcultural Psychiatry* (under reviewer assignment)
5. 安宅勝弘, 影山任佐, 齋藤憲司, 佐藤 武, 粥川裕平. 大学院における休学・退学・留年学生に関する調査—平成 23 年度調査結果を中心に. 第 34 回全国大学メンタルヘルス研究会報告書. 2013. pp.20-27.
6. 岩本利恵, 佐藤 武. 難病を抱える患者における自己超越性の強化. *精神神経学雑誌* 2013; 115(6):561-569.
7. 山本眞由美, 吉川弘明, 中川 克, 林 多喜王, 佐藤 武, 河邊博史, 守山敏樹, 西尾彰泰, 鈴木眞理, 馬場久光, 鎌野 寛, 大塚盛男, 富樫 整, 立見政信: 全国大学保健管理協会 (JUHA) と米国大学保健管理協会 (ACHA) の交流経過報告. *CAMPUS HEALTH* 51(1):584-586, 2014.
8. 佐藤 武, 花田陽子, 島ノ江千里, 山本あゆみ, 南嶋里佳, 江口達也, 新地浩一. 佐賀大学におけるキャンパス・ソーシャルワーカー制度—制度導入から現在までの 2 年間の分析. *精神医学* 56(5) :385-389, 2014.
9. 佐藤 武. 特集<大学における健康教育>大学生のストレスとその心理相談. *CAMPUS HEALTH* 51(2):1-6, 2014.
10. 古川尚子, 尾崎岩太, 多胡雅毅, 武富弥栄子, 古川早苗, 安田 郁, 木道圭子, 佐藤 武, 江口有一郎, 山下秀一: 話しやすい職場は職員の疲労を軽減する. *CAMPUS HEALTH* 51(2): 211-216, 2014.

11. 花田陽子, 島ノ江千里, 山本あゆみ, 南嶋里佳, 佐藤 武, 新地浩一. 佐賀大学におけるキャンパス・ソーシャルワーカー制度のあり方～制度導入から現在までの2年間の実績と評価. 第35回全国大学メンタルヘルス研究会報告書. pp.77-82, 2014.
12. 丸谷俊之, 安宅勝弘, 齋藤憲司, 佐藤 武, 富田悟江, 杉田義郎, 苗村育郎. 大学院における休学・退学・留年学生に関する調査—平成23年度調査結果を中心に. 第35回全国大学メンタルヘルス研究会報告書. pp.11-20, 2014.
13. 柴 佳宝, 佐藤 武. うつ病の理解と対応の考え方—日本と中国における大学生の比較研究—. 第35回全国大学メンタルヘルス研究会報告書. p.21-26, 2014.
14. 佐藤 武: 九州地方部会の現状と将来. CAMPUS HEALTH 創立50周年記念特集号、p116-117, 2014.
15. 丸谷俊之, 安宅勝弘, 齋藤憲司, 佐藤 武, 杉田義郎, 苗村育郎. 大学院における休学・退学・留年学生に関する調査—第10報(平成23年度集計結果)—. CAMPUS HEALTH 51 (1):555-557, 2014.
16. 佐藤 武、木道圭子、中島俊思: 発達障害等の悩みを持つ学生の支援体制—佐賀大学におけるキャンパス・ソーシャルワーカーについて—. CAMPUS HEALTH 52 (in press)
17. 丸谷 俊之、安宅 勝弘、齋藤 憲司、高山 潤也、佐藤 武、杉田 義郎、苗村育郎: 全国国立大学大学院学生の死亡の状況について: 平成24年度調査から. CAMPUS HEALTH 52 (in press)
18. 布施泰子、三浦淳、苗村育郎、佐藤武: 大学における休・退学、留年学生に関する調査結果と考察—平成24(2012)年度分の調査について—. CAMPUS HEALTH 52 (in press).
19. 丸谷 俊之、安宅 勝弘、齋藤 憲司、高山 潤也、佐藤 武、杉田 義郎、苗村育郎: 全国国立大学大学院学生の休学・退学・留年の状況について・平成24年度調査から. CAMPUS HEALTH 52 (in press)
20. 三浦淳、布施泰子、苗村育郎、佐藤武: 大学における休・退学、留年学生に関する調査第35報(平成24年度集計結果). 第36回全国大学メンタルヘルス研究会報告書 (in press)
21. 丸谷 俊之、安宅 勝弘、齋藤 憲司、高山 潤也、佐藤 武、杉田 義郎、苗村育郎: 大学院における休学・退学・留年学生に関する調査—平成24年度集計結果を中心に—. 第36回全国大学メンタルヘルス研究会報告書 (in press)
22. 佐藤 武、清田 勝、林田行雄: 悩みを抱える学生の行動軌跡—(1)方法論の検討—. 第36回全国大学メンタルヘルス研究会、平成26年12月11日～12日、京都、龍谷大学.
23. 佐藤 武、林田行雄: 韓国・台湾における保健管理センターの現状視察. 第36回全国大学メンタルヘルス研究会報告書 (in press)

〔学会発表〕

1. 木道圭子、永渕久子、小川康子、福島雅子、武富弥栄子、尾崎岩太、佐藤武：大学生における Brugada 型心電図の予後判定因子について 第 52 回全国大学保健管理研究集会 平成 26 年 9 月 3 日～4 日 東京都 慶應義塾大学三田キャンパス西校舎ホール.
2. Sato T : Key note lecture: Game & Net Addiction – Adverse effect. ICC2014 in Korea, June 25 to June 29, 2014.
3. 佐藤 武：こころアレルギー（人間関係免疫不全症候群）に関する研究. 第 16 回日本生活体験学習学会、平成 27 年 2 月 1 日、九州大学、福岡.
4. 山本眞由美、吉川弘明、中川 克、林 多喜王、佐藤 武、河邊博史、守山敏樹、西尾彰泰、鈴木眞理、馬場久光、鎌野 寛、大塚盛男、富樫 整、立見政信：留学生の健康管理に関する全国調査報告－国際連携委員会・国際交流委員会合同調査－. CAMPUS HEALTH 第 52 回全国大学保健管理研究集会 平成 26 年 9 月 3 日～4 日、東京都、慶應義塾大学三田キャンパス.
5. 丸谷 俊之、安宅 勝弘、齋藤 憲司、高山 潤也、佐藤 武、杉田 義郎、苗村育郎：大学院における休学・退学・留年学生に関する調査 第 11 報（平成 24 年度集計結果）. CAMPUS HEALTH 第 52 回全国大学保健管理研究集会 平成 26 年 9 月 3 日～4 日 東京都 慶應義塾大学三田キャンパス.
6. 三浦淳、布施泰子、苗村育郎、佐藤武：大学における休・退学、留年学生に関する調査第 3 5 報（平成 24 年度集計結果）. CAMPUS HEALTH 第 52 回全国大学保健管理研究集会 平成 26 年 9 月 3 日～4 日 東京都 慶應義塾大学三田キャンパス.
7. 三浦淳、布施泰子、苗村育郎、佐藤武：大学における休・退学、留年学生に関する調査第 3 5 報（平成 24 年度集計結果）. 第 3 6 回全国大学メンタルヘルス研究会、平成 26 年 12 月 11 日～12 日、京都、龍谷大学.
8. 丸谷 俊之、安宅 勝弘、齋藤 憲司、高山 潤也、佐藤 武、杉田 義郎、苗村育郎：大学院における休学・退学・留年学生に関する調査－平成 24 年度集計結果を中心に－. 第 3 6 回全国大学メンタルヘルス研究会、平成 26 年 12 月 11 日～12 日、京都、龍谷大学.
9. 佐藤 武、清田 勝、林田行雄：悩みを抱える学生の行動軌跡－（1）方法論の検討－. 第 3 6 回全国大学メンタルヘルス研究会、平成 26 年 12 月 11 日～12 日、京都、龍谷大学.
10. 佐藤 武、林田行雄：韓国・台湾における保健管理センターの現状視察. 第 3 6 回全国大学メンタルヘルス研究会、平成 26 年 12 月 11 日～12 日、京都、龍谷大学.

<鍋島キャンパス>

研究報告

[著書]

特になし。

原著論文

Matsuhashi S, Hamajima H, Xia J, Zhang H, Mizuta T, Anzai K, Ozaki I. Control of a tumor suppressor PDCD4: Degradation mechanisms of the protein in hepatocellular carcinoma cells. Cell Signal. 2014;26(3):603-610

Kuwashiro T, Mizuta T, Kawaguchi Y, Iwane S, Takahashi H, Oza N, Oeda S, Isoda H, Eguchi Y, Ozaki I, Anzai K, Fujimoto K. Impairment of health-related quality of life in patients with chronic hepatitis C is associated with insulin resistance. J Gastroenterol. 2014 Feb;49(2):317-23.

Oza N, Takahashi H, Eguchi Y, Kitajima Y, Kuwashiro T, Ishibashi E, Nakashita S, Iwane S, Kawaguchi Y, Mizuta T, Ozaki I, Ono N, Eguchi T, Fujimoto K, Anzai K. Efficacy of ezetimibe for reducing serum low-density lipoprotein cholesterol levels resistant to lifestyle intervention in patients with non-alcoholic fatty liver disease. Hepatol Res. 2014 Jul;44(7):812-7.

古川（江口）尚子, 尾崎岩太, 多胡雅毅, 武富弥栄子, 古川早苗, 安田郁, 木道圭子, 佐藤武, 江口有一郎, 山下秀一. 話しやすい職場は職員の疲労を軽減する. Campus Health 2014; 51(2): 211-216.

学会

Xia J, Ozaki I, Matsuhashi S, Qi J, Iwane S, Takahashi H, Eguchi Y, Mizuta T, Anzai K. Mechanisms of PKC-mediated enhancement of HIF-1 α activity and its inhibition by Vitamin K2 in Hepatocellular carcinoma cells 65th Annual meeting of the AASLD. 2014.11.7-11.11 Boston. Hepatology 2014; 59 (4) Suppl. 817A (#1283)

Nakashita S, Otsuka T, Kubotsu Y, Araki N, Kamachi S, Isoda H, Ozaki T, Mizuta T, Eguchi Y, Anzai K. Utility of ferritin to predict anti-tumor effects of sorafenib treatment for hepatocellular carcinoma base on the perspective of ferroptosis. ILCA 2014 8th Annual Conference 2014.09.5-7, Kyoto, P186.

北島陽一郎、高橋宏和、荒木紀匡、尾崎岩太、藤本一眞、安西慶三、小野尚文、江口尚久、江口有一郎、角田圭雄、兵庫秀幸. NASHにおける膵β細胞機能低下は骨格筋を委縮させ肝線維化を進展させる 第50回日本肝臓学会総会 2014.05.29-30 東京 肝臓 2014; 55(Suppl A): O-386.

北島陽一郎、高橋宏和、松田やよい、小島基靖、尾崎岩太、小野尚文、江口尚久、兵庫秀幸、藤本一眞、安西慶三. リラグルチドは「肝筋連関」に作用しNASH病態を改善する第18回日本肝臓学会大会 2014.10.23-26 神戸 肝臓 2014;55(Suppl B):

北島陽一郎、江口有一郎、高橋宏和、小島基靖、辻 千賀、尾崎岩太、小野尚文、江口尚久、兵庫秀幸、藤本一眞、安西慶三. 高度肥満症を有するNASH合併2型糖尿病へのリラグルチドの多面効果 第29回日本糖尿病合併症学会 2014.10.3-4 東京

木道圭子、永渕久子、小川康子、福島雅子、武富弥栄子、尾崎岩太、佐藤武. 大学生におけるBurgada型心電図の予後判定因子について. 第52回全国大学保健管理研究集会 2014.9.2-3 東京 プログラム・抄録集 p40(A-4-2).

小島基靖、松田やよい、岡田倫明、桑代卓也、山口美幸、尾崎岩太、江口有一郎、安西慶三. GLP-1受容体作動薬の非アルコール性脂肪性肝炎(NASH)進展抑制効果 第87回日本内分泌学会学術総会 2014.04.24-26 福岡 P2-27-3

桑代 卓也、尾崎 岩太、岩根 紳治、松橋 幸子、大塚 大河、江口 有一郎、安西 慶三. 細胞外マトリックスはインターフェロンシグナルを抑制する 第50回日本肝臓学会総会 2014.05.29-30 東京 肝臓 2014; 55(Suppl A):O-50

岡田倫明、古川尚子、大枝 敏、河口康典、尾崎岩太、安西慶三、江口有一郎. 肝炎ウイルス検査、精密検査、肝炎治療の意思決定には、かかりつけ医、家族・知人・職場の勧めが有効である 第50回日本肝臓学会総会 2014.05.29-30 東京 肝臓 2014; 55(Suppl A):O-1

尾崎岩太、浜島弘史, XIA Jinghe, QI Jingyan, 安西慶三, 水田敏彦, 松橋幸子. 肝癌細胞における腫瘍抑制遺伝子 Programmed cell death4 (PDCD4) の増殖因子特異的リン酸化による発現調節メカニズム. 第50回日本肝臓学会総会 2014.05.29-30 東京肝臓 2014; 55(Suppl A):O-85

福島雅子、小川康子、永渕久子、武富弥栄子、古川早苗、安田郁、木道圭子、尾崎岩太、佐藤武. 佐賀大学におけるメンタルスクリーニングの現状と課題（過去10年間の取り組みにつ

いて) 第 44 回九州地区大学保健管理研究協議会 2014.8.21-22 九州工業大学 (北九州市)

安田郁, 武富弥栄子, 古川早苗, 尾崎岩太, 小川康子, 福島雅子, 木道圭子, 佐藤武. 大学職員を対象としたスクリーニング面接の取り組み 第 44 回九州地区大学保健管理研究協議会 2014.8.21-22 九州工業大学 (北九州市)

研究会

北島陽一郎、江口有一郎、高橋宏和、松田やよい、小島基靖、尾崎岩太、小野尚文、江口尚久、兵庫秀幸、藤本一眞、安西慶三. 高度肥満症を有する NASH 合併 T2DM へのリラグルチドの多面的効果 第 4 回肥満と消化器疾患研究会 2014.05.28 東京

北島陽一郎、高橋宏和、荒木紀匡、尾崎岩太、藤本一眞、安西慶三、小野尚文、江口尚久、江口有一郎、角田圭雄、兵庫秀幸. NASH における膵 β 細胞機能低下と肝線維化進展第 22 回肝病態生理研究会 2014.05.31 東京

桑代卓也、尾崎岩太、岩根紳治、松橋幸子、大塚大河、江口有一郎、安西慶三. 細胞外マトリックスは NF κ B シグナルを介してインターフェロンシグナルを抑制する第 21 回肝細胞研究会 2014.06.27-28 東京 プログラム抄録集 p6

中下俊哉、大塚大河、辻千賀、蒲池紗央里、井手康史、有尾啓介、江口有一郎、柳田公彦、川添聖治、尾崎岩太、水田敏彦. 脈管浸潤を伴う肝細胞癌に対するソラフェニブ療法とリザーバー動注療法 第 9 回日本肝がん分子標的治療研究会 2014.1.25 東京 抄録集 P D-3

夏 京合、尾崎岩太、松橋幸子、Qi Jingyang、岩根紳治、高橋宏和、江口有一郎、水田敏彦、安西慶三. Mechanisms of PKC-mediated enhancement of HIF-1 α activity and its inhibition by Vitamin K2 in HCC cell 第 21 回肝細胞研究会 2014.06.27-28 東京 プログラム抄録集 p61

講義等

尾崎岩太. 実習の安全管理: 感染予防を中心に. 医学科 4 年 臨床入門. 2014. 1. 20

尾崎岩太. 医学生健康管理. 医学科 3 年 地域医療 Unit1 2014. 4. 16

尾崎岩太. 生活習慣と健康. インターフェイス科目: 食と健康 III 運動と栄養. 2014.10.29

PBL チューター

Unit2 消化器 医学科 3 年 2014.6.10&13

IV 国際交流及び社会連携・貢献に関する状況と自己評価

保健管理センターでは、地域の方々から、講演を依頼されることが多々ある。時間の許す

範囲で、できるだけ、フィジカルおよびメンタルに関する社会連携・貢献を果たしている。
その内容は以下に列記する。

<本庄キャンパス（佐藤・木道）>

新聞執筆

1. 佐藤 武：診察室から「黒酢で健康 究極の健康法 10 か条」。佐賀新聞：平成 26 年 4 月 19 日号。
2. 佐藤 武：診察室から「マヌカハニーの秘密 抗菌効果や抗がん作用も」。佐賀新聞：平成 26 年 5 月 24 日号。
3. 佐藤 武：診察室から「ウイズ・エイジング 老化と率直に向き合う秘訣」佐賀新聞：平成 26 年 6 月 21 日号。
4. 佐藤 武：診察室から「お酒で悪酔いしない方法 ビタミンB、カルシウムを取って」佐賀新聞：平成 26 年 7 月 19 日号。
5. 佐藤 武：診察室から「こころの健康を保つには 怒りを表現し、ため込まない」佐賀新聞：平成 26 年 8 月 16 日号。
6. 佐藤 武：診察室から「日本人は太りやすい！？ ポジティブ思考でダイエット成功へ」佐賀新聞：平成 26 年 9 月 13 日号。
7. 佐藤 武：診察室から「心の健康「表と裏」 悩む人の考え方とは？」佐賀新聞：平成 26 年 10 月 11 日号。
8. 佐藤 武：診察室から「寝室でスマホやタブレット セックスレス傾向の要因？」佐賀新聞：平成 26 年 11 月 8 日号。
9. 佐藤 武：診察室から「魚を食べましょう！ ダイエットの効果について」佐賀新聞：平成 26 年 12 月 6 日号。
10. 佐藤 武：診察室から「健康の基本 早寝早起き規則正しい生活で元気に」佐賀新聞：平成 27 年 1 月 10 日号。
11. 佐藤 武：診察室から「うつ予防 たんぱく質とビタミンを摂ろう」佐賀新聞：平成 27 年 2 月 7 日号。
12. 佐藤 武：診察室から「腸内フローラの再先端研究 新たな難治性疾患の解明可能に！？」佐賀新聞：平成 27 年 3 月 7 日号。
13. 佐藤 武：私の紙面批評「情熱を感じた展覧会報道 新進気鋭の芸術家紹介を」佐賀新聞：平成 26 年 5 月 3 日号。
14. 佐藤 武：私の紙面批評「語り継ぐ人物もっと発掘を 興味深かった一連の辰野報道」佐賀新聞：平成 26 年 9 月 9 日。
15. 佐藤 武：私の紙面批評「欲しかった誤りをただす姿勢 STAP問題の本質報道を」佐賀新聞：平成 27 年 1 月 14 日。

テレビ・ラジオ出演

1. 佐藤 武：ブラック企業とブラックアルバイト. NBCラジオ：平松誠四郎のおはようラジオ, 平成 26 年 4 月 25 日, 長崎 (電話生放送).
2. 佐藤 武：黒酢で健康 究極の健康法 10 か条. NBCラジオ：平松誠四郎のおはようラジオ, 平成 26 年 5 月 23 日, 長崎 (電話生放送).
3. 佐藤 武：マヌカハニーの秘密 抗菌効果や抗がん作用も. NBCラジオ：平松誠四郎のおはようラジオ, 平成 26 年 6 月 27 日, 長崎 (電話生放送).
4. 佐藤 武：ウイズ・エイジング 老化と率直に向き合う秘訣. NBCラジオ：平松誠四郎のおはようラジオ, 平成 26 年 7 月 25 日, 長崎 (電話生放
5. 佐藤 武：お酒で悪酔いしない方法 ビタミンB、カルシウムを取って. NBCラジオ：平松誠四郎のおはようラジオ, 平成 26 年 8 月 22 日, 長崎 (電話生放送).
6. 佐藤 武：こころの健康を保つには 怒りを表現し、ため込まない. NBCラジオ：平松誠四郎のおはようラジオ, 平成 26 年 9 月 26 日, 長崎 (電話生放送).
7. 佐藤 武：日本人は太りやすい！？ ポジティブ思考でダイエット成功へ. NBCラジオ：平松誠四郎のおはようラジオ, 平成 26 年 10 月 17 日, 長崎 (電話生放送).
8. 佐藤 武：スマホ依存で睡眠障害. 九州朝日放送 (KBC)「アサデス」、平成 27 年 2 月 19 日、福岡.

講演

1. 木道圭子：安全衛生について 平成 26 年度佐賀大学新任教員研修会 平成 26 年 5 月 9 日 医学部看護学科講義室 4.
2. 木道圭子：健康管理について 工学系研究科 FD 講演会 平成 26 年 9 月 10 日 工学系研究科 6 号館 2 階多目的セミナー室.
3. 佐藤 武：心電図の読み方とマラソン中の仕事. アミノバリューホノルルマラソン平成 26 年 4 月 17 日、佐賀大学、佐賀.
4. 佐藤 武：人との接し方. 佐賀大学新入生アドバイザー研修会、佐賀大学、平成 24 年 4 月 3 日、佐賀.
5. 佐藤 武：疲労蓄積度チェックリストの分析と復職支援プログラムについて. 佐賀大学事務連絡会議講話、平成 26 年 5 月 15 日、佐賀大学、佐賀.
6. 佐藤 武：メンタルヘルスとアルコール依存—喫煙とアルコール依存—. 平成 26 年 5 月 23 日、佐賀市警察署、平成 26 年 5 月 23 日、佐賀.
7. 佐藤 武：基本的な人間関係及び佐賀大学留学生の健康相談対応について. 医療通訳サポーター養成講座 第 2 回、佐賀県国際交流／通訳サポーター養成講座、平成 26 年 6 月 17 日、佐賀
8. 佐藤 武：職場におけるメンタルヘルス～中高年に忍び寄る「うつ病」問題～. 平成 2

- 6年度佐賀大学中堅職員研修、平成26年7月14日、佐賀.
9. 佐藤 武：中高年のメンタルヘルス. いのちの電話、平成26年8月6日、佐賀.
 10. 佐藤 武：教職員におけるメンタルヘルス. 平成26年度佐賀県新任教務主任研究. 平成26年8月7日、佐賀.
 11. 佐藤 武：中高年のメンタルヘルス. いのちの電話、平成26年8月9日、佐賀
 12. 佐藤 武：精神の発達とその課題－発達障害やうつ病の心理相談から－. 教員免許状更新講座、佐賀大学医学部、平成26年8月20日、佐賀.
 13. 佐藤 武：「うつ」に対する理解と対処法. 佐賀県警メンタルヘルス講演、平成26年9月25日、佐賀.
 14. 佐藤 武：日本・米国・中国の大学生におけるうつ病の認識率. 佐賀県自殺対策協議会、平成26年10月6日、佐賀.
 15. 佐藤 武：新型うつ病とその対応. 佐賀大学フォローアップ研修、菱のみ会館、平成26年10月7日、佐賀.
 16. 佐藤 武：不安と行動：紙とスマホ. 佐賀新聞社・社内研究、平成26年10月14日、佐賀.
 17. 佐藤 武：情報洪水社会に病む人たち. 本庄公民館セミナー、平成26年10月20日、佐賀.
 18. 佐藤 武：「うつ」に対する理解と対処法. 佐賀大学ステップアップ研修、菱のみ会館、平成26年10月27日、佐賀.
 19. 佐藤 武：「うつ」に対する理解と対処法. 佐賀県警察学校、平成26年10月29日、佐賀.
 20. 佐藤 武：「うつ」に対する理解と対処法. 佐賀県警メンタルヘルス講演、平成26年10月29日、佐賀
 21. 佐藤 武：新型うつ病とその対応. 佐賀県医療センター好生館、平成26年11月6日、佐賀.
 22. 佐藤 武：各種ダイエット法の減量効果／JAMA. 佐賀県医師会「歩こう会」、佐賀県医師会、平成26年11月16日、祐徳稲荷神社、鹿島.
 23. 佐藤 武：メンタルヘルスに問題を抱えた学生への対応について. 第10回日本語教育機関と留学生進学先教育機関の教育担当者との研究協議会、日本学生支援機構、平成26年12月13日、大阪.
 24. 佐藤 武：うつ病について. いのちの電話、平成26年12月17日、佐賀.
 25. 佐藤 武：うつ病について. いのちの電話、平成26年12月20日、佐賀.
 26. 佐藤 武：「うつ」に対する理解と対処法. 教職員10年経験者研修、佐賀県教育センター、平成27年1月6日、佐賀.
 27. 佐藤 武：メタボリック・シンドロームの解消方策. 佐賀県警、平成27年1月19日、佐賀.

28. 佐藤 武：キャンパス・ソーシャルワーカー：設立経緯と現状. 岡山大学講演、平成 27 年 2 月 18 日、岡山.
29. 佐藤 武：「うつ」に対する理解と対処法. 復職支援に関する講話、平成 27 年 2 月 26 日、佐賀大学、佐賀.

国際貢献：

1. 中島 晃、佐藤 武：元培科学技術大学創立 50 周年記念祝賀会. 新竹市、平成 26 年 11 月 7 日～9 日、台湾.

<鍋島キャンパス（尾崎）>

講 演

尾崎岩太. 佐賀県における C 型肝炎治療の肝癌予防効果. 佐賀ソブリアード発売記念講演会 創世（佐賀市）2014. 1. 24.

尾崎岩太. 病院で働き始める前に. 佐賀大学医学部附属病院看護師オリエンテーション. 2014.4.9 佐賀大学医学部附属病院（佐賀市）

尾崎岩太. 肝炎公費助成制度の現状. 佐賀県肝癌対策医会 マリトピア（佐賀市）2014. 7. 31

尾崎岩太. 学校における疾病予防と保健管理. 平成 25 年度教員免許更新講習会. 2015. 8. 29 佐賀大学医学部（佐賀市）

尾崎岩太. 佐賀県におけるウイルス肝炎の現況-検診から治療へ-. 第 108 回佐賀肝臓懇話会 マリトピア（佐賀市） 2014. 8. 29

尾崎岩太. 佐賀の肝がん：C型肝炎ウイルスからみた現在・過去・未来. 佐賀市本庄公民館生活・教養セミナー 4 本庄公民館（佐賀市）2014. 9. 25

尾崎岩太. B 型 C 型肝炎の最新治療. 平成 26 年度鳥栖市健康大学 鳥栖市保健センター（鳥栖市）2014. 9. 25

尾崎岩太. 佐賀県の肝疾患の現状. 平成 25 年度佐賀県地域肝炎コーディネーター養成研修会 2014.10.4-5 佐賀大学医学部（佐賀市）

尾崎岩太. 佐賀県の肝疾患の現状. 平成 25 年度佐賀県地域肝炎コーディネーター養成講座

e-learning. 2014.11.5, 2014.12.10 佐賀大学医学部（佐賀市）

この領域も日々の多忙な業務の中、地域の要請にできるだけこたえるように努力し、その成果は得られていると思われる。

V. 組織運営・施設・その他部局の重要な取組に関する状況と自己評価

佐賀大学における学内の各種委員会に積極的に参加し、学内の学生および教職員の問題点に保健管理センターとして、意見を述べている。さらに、全国および九州地区の保健管理センターの役職、佐賀県の役員などをこなし、社会貢献を行っている。

以下のその役職を提示する。

本庄キャンパス（佐藤）

〔学内〕

保健管理センター運営委員会（委員長）・労働安全衛生委員会（委員長）・産業医・統括安全衛生管理委員・学生モニター会議委員・入試委員会・学生委員会（オブザーバー）・大学教育委員会（オブザーバー）・教育室会議委員・医学部研究科委員会・本庄地区産業医・附属中学校保健委員・附属特別支援学校保健委員・施設協議会委員、学生支援室・健康支援部門（部門長）、附属園・小学校保健委員。

〔学外〕

国立大学保健管理施設協議会理事・全国大学保健管理協会理事・日本精神衛生学会理事・全国大学メンタルヘルス研究会運営委員・九州地区大学メンタルヘルス研究協議会運営委員・日本総合病院精神医学会評議員・日本サイコオンコロジー学会世話人・九州地区大学保健管理研究協議会評議員（代表世話人）・九州精神神経学会評議員・佐賀県自殺対策委員会委員、佐賀県いじめ問題対策委員会委員、佐賀県V I O S S理事、など。

査読委員：

「INFORMATION An International Interdisciplinary Journal」

「Asian-Information-Science-Life」

「精神神経学雑誌」「日本ペインクリニック学会誌」

「九州神経精神医学」

「CAMPUS HEALTH」

「こころの健康」

「Plos One」など。

本庄キャンパス (木道) :

[学内]

保健管理センター運営委員会 (委員)、本庄地区労働安全衛生委員会 (委員、産業医)、本庄地区産業医、ハラスメント相談員、学生支援室・集中支援部門 (副部門長)

鍋島キャンパス (尾崎)

[学内]

佐賀大学安全衛生管理委員会・佐賀大学医学部安全衛生委員会・佐賀大学医学部教育委員会 (オブザーバー)・佐賀大学動物実験委員会・佐賀大学医学部及び附属病院エコアクション21 委員会・佐賀大学医学部附属病院社会保険委員会・佐賀大学医学部附属病院感制御部会議・佐賀大学ハラスメント相談員・佐賀大学鍋島事業場産業医

[学外]

佐賀県肝疾患対策委員会 (委員長)
佐賀県肝炎治療助成費認定協議会
佐賀県国民健康保険診療報酬審査委員会

Peer Review

International Journal of Cancer
Hepatology Research
Cancer Cell International
Oncogenesis
Nutrition Research

この領域においても、各種委員会に可能な限り出席しており、十分な役割を果たしているといえる。